

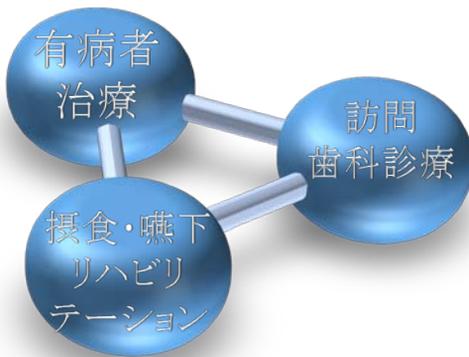
高齢者歯科を取り巻く環境

日本の65歳以上人口は平成27年には25%を超え、世界のどの国も経験したことのない超高齢社会を迎えています。歯科診療所の外来患者のうちの65歳以上の患者の占める割合もすでに30%を超え(厚労省平成23年度患者調査)、歯科診療においても高齢者への対応は必須のものとなりました。

高齢者歯科学分野では、今後ますます進んでいく高齢化社会のニーズに対応すべく、訪問歯科や摂食・嚥下リハビリテーション分野の臨床も積極的に取り組んでいます。また、研究分野においても、口腔の健康のみではなく、全身の健康やQuality of life (QOL)、高齢者の介護や、過疎化地域の問題にまで、多様な学際的な領域を研究の対象に取り組んでいます。



どんな臨床技術を磨くことができるか？



高齢者歯科の臨床では、口腔ケアや保存治療、抜歯や義歯の治療を中心とした一般歯科治療をまんべんなく経験することができます。高齢者歯科学分野には、老年歯科指導医、歯周病専門医、保存歯科専門医、インプラント専門医、歯科心身指導医など、多彩な専門性を持った指導医が在籍していますので、これらの専門的な治療経験を積むことや専門医資格の取得を目指すことも可能です。また、とくに他分野ではなかなか身につけることができない当科の臨床の特色は次のようなものです。

有病者治療

高齢者は多くの合併症を抱え、多数の薬剤を服用し、容易に歯科治療を行えない場合も多々あります。さまざまな全身疾患に対応するためには、全身病態の把握から、的確な診断・治療方針の立案、疾患ごとの対応法についての把握する必要があります。内科・外科とのカンファレンスや当科主催の勉強会、地域病院での臨床を通して、有病者治療のスキルアップを目指しましょう。



訪問歯科診療



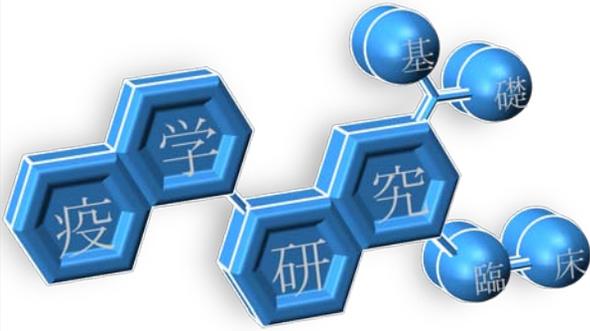
現在、キャンパス内にある介護保険施設2施設と外部の5施設と連携して訪問歯科診療を実施しています。要介護度の高い方、重篤な合併症を有する方、重度認知症の方の治療や口腔ケアに当たることができます。コンパクトな訪問診療器材や、訪問診療専用車が用意されており、他の研修施設ではなかなか機会の得られない訪問診療の経験を多数得ることができます。また、介護福祉士養成教員の講習や、介護実習を受講して、より質の高い訪問歯科診療のスキルを得ることができます。

摂食・嚥下リハビリテーション

近年歯科での取り組みが注目されている分野です。摂食・嚥下機能を改善することで、高齢者の食べる楽しみを取り戻し、また誤嚥性肺炎を予防し、生命予後の延伸とQOLの向上に寄与できるからです。高齢社会が深刻化するにつれて、嚥下障害の相談や嚥下リハビリテーションを求められることも多くなってきました。当科では、嚥下の基本的な評価法の他に、嚥下内視鏡検査(VE)や嚥下造影検査(VF)の診断の実力を付けることも可能です。



どんな研究に取り組んでいるか？



高齢者歯科で取り組んでいる研究課題は、日本や超高齢社会の問題そのものです。主にフィールドを対象とした調査を通して行われる疫学研究が中心になっています。膨大なデータから、より高齢者の方々が幸せになれる方法は何か？について検討を行っています。診療室に來られる患者さんを対象とした臨床研究も行っています。基礎研究を希望の方は、基礎系講座との連携を行っていますので、基礎系の研究を行いながら、当科で臨床を行うことも可能です。

■ 歯を失うことは全身の健康に影響を与えるか？

2006年までに実施した日本全国の歯科医師2万人以上の健康調査をもとにして、歯科医師自身の口腔の健康の状態と、その後の歯科医師の入院を要するような大きな疾患への罹患や死亡との関連を追跡調査しています。つまり、歯の数が多い人ほど、あるいは歯周病に罹患した歯が少ないほど、長生きできるのか、肺炎や大腿骨頸部骨折、心臓病、脳卒中などにかかる人が少ないのか、といった関連を調査しています。歯科医師を調査対象として口腔の健康の重要性を調べるための研究で、歯科医師コホート研究と名付けられています。名古屋大学、京都大学との共同研究として、すでに5報の論文を発表し、研究を継続しています。



■ 歯の手入れを定期的に行うと幸せになるか？



最近の歯科の治療は、痛いところだけ治すという治療から、健康な口をいつまでも保つために定期的にメンテナンスを行う治療にシフトしつつあります。定期的にメンテナンスを行えば、歯の健康は保たれると思われていますが、さらにQOL(生活の質)の改善まで影響を与えているのではないだろうかと考えて開始したのがこの研究です。日本全国の歯科医院受診患者さん2000名以上の協力を得て、定期的に歯の手入れをしている人がしていない人にくらべてQOLが高いかどうかを追跡調査しています。また、定期的なメンテナンスをサボりやすい人は、こういった特性を持った方なのかという調査も開始しています。

■ 高齢化の進んだ過疎地区・公団住宅などの健康支援策の検討？

現在、日本は地方を中心として急速に過疎化が進んでいます。公共交通機関の廃止や高齢化の進展などによって医療へのアクセスの得難くなった地域が増えているのです。我々の調査グループは、福岡市内の過疎地区の支援の体制についての調査を開始し、健康教室や住民検診を開催し、地域の見守りや行政との協働での活動を行っています。また、これから大きな問題となるであろう高齢化の進んだ団地の調査の準備も開始しています。



大学院生募集

・地域医療・高齢者歯科臨床に興味のある方

訪問診療、要介護高齢者診療、摂食・嚥下リハビリテーションのスキルが身につきます。

・認定医を目指す方

老年歯科医学会の認定医取得をサポートします。